

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

研究計画書番号	RP-A2-08
研究課題名	長崎原爆被爆者に発生した病理組織学的診断根拠のある多重がん症例の同定
研究責任者（所属）	中島正洋（長崎大学原爆後障害医療研究所、放射線影響研究所疫学部顧問）
試料・情報の利用目的及び 利用方法	<p>利用目的： 原爆放射線被曝が多重がんの発生に及ぼす影響を解明します。病理診断により多重がんであることの確定を行うことによって、より正確な分析が可能となります。</p> <p>利用方法： 長崎で被曝した寿命調査対象者に生じた多重がんについての情報を長崎のがん登録より取得します。このうち、多重がんと確定しにくい症例について、長崎の医療機関が保有する病理試料を借用し、病理学的検討を行います。</p> <p>多重がんであることが病理学的に確認された症例に基づき、原爆放射線の被曝線量と多重がんのリスクの関連を分析します。分析結果は、学術論文等において集計値として公表します。</p>
他の機関への提供の有無	<p><input checked="" type="checkbox"/>有（提供先機関：長崎大学原爆後障害医療研究所）研究責任者へ分析用のデータを提供する目的のために、個人情報を匿名化（対応表は放影研が保持します）したうえで、個別データを提供します。匿名性を高めるために、生年月日や被曝線量など個人の特定につながる可能性のある情報は丸めて提供します。</p> <p><input type="checkbox"/>無</p>
利用し、又は提供する 試料・情報の項目	<p>1) 追跡調査に基づく生死および死因、がん罹患に関する情報 （がん罹患に関する情報は RP18-61 & RP29-60 で取得したものです）</p> <p>2) 多重がんを発症した方の病理試料</p> <p>3) 対面調査および質問票調査に基づく原爆被曝状況</p>
利用する者の範囲	<p>長崎大学原爆後障害医療研究所</p> <p style="padding-left: 40px;">中島正洋 三浦史郎</p> <p>放射線影響研究所</p> <p style="padding-left: 40px;">小笹晃太郎 定金敦子</p>

	歌田真依 早田みどり 疫学部原簿管理課・腫瘍組織登録室・病理学研究室・解析室の担当職員
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	中島正洋（長崎大学原爆後障害医療研究所、放射線影響研究所疫学部顧問）
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：小笹晃太郎 公益財団法人 放射線影響研究所 疫学部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131